

平成 26 年度の障害者虐待の状況について

平成 26 年度(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)の県内の障害者虐待に関する対応状況については以下のとおりです。

本調査は、厚生労働省が実施した障害者虐待防止法に基づく市町村及び都道府県の対応状況等調査の内、本県分を取りまとめたものです。

【ポイント】

- 障害者虐待に係る相談・通報・届出件数は 401 件。
- そのうち、養護者による障害者虐待が最も多く、全体の 5 割以上を占め、次いで使用者による障害者虐待、障害者福祉施設従事者等による障害者虐待となっている。
- 相談・通報・届出のあった 401 件のうち、虐待と認定した件数は 143 件であり、相談・通報・届出件数の 4 割程度が障害者虐待と認定された。
- 養護者による障害者虐待と認定された 102 件のうち、市町村が 31 件で施設等で障害者を一時保護し、71 件については見守りの強化や養護者への指導などの対応を行っている。
- 虐待認定された事案の被虐待者の障害種別は知的障害が最も多く、全体の 4 割以上を占め、次いで精神障害、身体障害となっている。
- 虐待種別は身体的虐待が最も多く、全体の 4 割以上を占め、次いで心理的虐待、経済的虐待、放棄・放任、性的虐待となっている。

愛知県における調査結果の概要

1 相談・通報・届出件数等

	養護者による 障害者虐待	施設従事者 による障害者虐待	使用者による 障害者虐待	合計
相談・通報・届出 件数	216 件 (224 件)	75 件 (79 件)	110 件 (90 件)	401 件 (393 件)
うち、虐待と認め られた件数	102 件 (129 件)	16 件 (15 件)	25 件 (15 件)	143 件 (159 件)

※ カッコ内の数字は昨年度の確定値です（以下、同じ。）。

※ 養 護 者：障害者の身近の世話をしている家族、親族、同居人等

施設従事者：障害者福祉施設や障害福祉サービス事業所等に従事する者

使 用 者：障害者を雇用する事業主等

2 虐待と認められた事案の障害種別及び虐待種別

(1) 被虐待者の障害種別

	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他心身 機能の障害	計
養 護 者	22 人	63 人	44 人	2 人	1 人	132 人
施設従事者	7 人	6 人	1 人	1 人	3 人	18 人
使 用 者	5 人	13 人	3 人	3 人	3 人	27 人
計	34 人	82 人	48 人	6 人	7 人	177 人 (212 人)

※ 複数の障害がある被虐待者もいるため、1 相談・通報・届出件数等の「うち、虐待と認められた件数」とは一致しない。

(2) 虐待種別

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄・放任	経済的虐待	計
養 護 者	81 人	5 人	47 人	13 人	20 人	166 人
施設従事者	11 人	1 人	9 人	1 人	0 人	22 人
使 用 者	4 人	0 人	11 人	0 人	16 人	31 人
計	96 人	6 人	67 人	14 人	36 人	219 人 (258 人)

※ 複数の障害がある被虐待者もいるため、1 相談・通報・届出件数等の「うち、虐待と認められた件数」とは一致しない。

3 虐待と認められた事案の虐待者別詳細

(1) 養護者による障害者虐待

ア 被虐待者から見た虐待者の続柄

父	母	夫	妻	息子	娘	兄弟 姉妹	その他	計
26 人	31 人	15 人	2 人	3 人	1 人	21 人	13 人	112 人

※ 1 件につき複数の虐待者がいるものもあるため、1 相談・通報・届出件数等の「うち、虐待と認められた件数」とは一致しない。

イ 虐待に対する対応状況

分離を行った事案	分離を行わなかった事案	その他	計
31件	48件	23件	102件

(2) 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待

ア 虐待が行われた障害者福祉施設等の種別

居宅介護	生活介護	共同生活介護	就労継続支援A型	
4件	3件	1件	3件	
移動支援	地域活動支援センターを運営する事業	短期入所	放課後等デイサービス	計
1件	2件	1件	1件	16件

イ 虐待を行った従事者の職種

サービス管理責任者	その他従事者	生活支援員	不明	計
5人	11人	3人	1人	20人

※ 1件につき複数の虐待者がいるものもあるため、1 相談・通報・届出件数等の「うち、虐待と認められた件数」とは一致しない。

ウ 虐待に対する対応状況

県による施設・事業所等に対する指導(改善勧告)	市町村による施設・事業所等に対する指導・注意等	県により、今後実地指導予定	計
0件	20件	0件	20件

※ 15 事案に対して実施。1 事案は本人の希望と緊急性の低さから相談のみとなっている。

(3) 使用者による障害者虐待

ア 被虐待者から見た虐待者の身分

事業主	所属の上司	不明	計
13人	7人	5人	25人

イ 被虐待者の雇用形態

正社員	パート・アルバイト	期間契約社員	不明	計
5人	9人	4人	7人	25人